ホタル大橋・天狗山（てんぐ）トンネル

関係者出席のもと盛大に開通を祝う

　ホタル大橋と天狗山トンネルの開通式が県、町関係者約80人の参加の下、2月13日（金）それぞれ現地で行われました。はじめにホタル大橋で安全祈願祭を行ったあと、テープカット、くす玉割りを行い下大迫安巳さん、ヨシエさん夫妻、下大迫清徳さん、邦子さん夫妻、下大迫浩作さん、美里さん夫妻の3代夫婦による渡り初めを行い開通を祝いました。その後、場所を天狗山トンネルに移し、テープカット、くす玉割りをし、トンネルの渡り初めを行いました。

　この広域農道は、昭和58年度に着工以来20年余りを経過し、平成15年度で全体の96％が完成しています。

　ホタル大橋は、第2ダム下流にかかる橋で広域農道全体の橋梁の中で最も長い107．6ｍで、約3億円の事業費を投入し、平成12年度から15年度までの4年間をかけて完成しました。

　天狗山トンネルは、神子の上下大迫と中間を結ぶ全長270ｍで、約8億6000万円の事業費を要し、平成13年度から15年度までの3年間をかけて完成しました。

　式典では、町長が「この広域農道は、川薩地区の交通の利便性や農業の振興、活性化に寄与するものです。現在大平地区が川薩3期として平成19年度開通に向け工事が進められています。この道路が末永く地域に愛される道路となるよう願っています。」と式辞を述べ、その後、施工業者10社に感謝状が贈呈されました。

完成したホタル大橋・天狗山トンネル

ホタル大橋（浦川内側から大野側を望む）

天狗山トンネル（上下大迫側）

天狗山トンネル（中間側）

ＳＴＯＰ！山火事

～山火事の主な原因は火の不始末や放火～

　森林は、水を貯（た）めたり、山崩れを防止したりと、私たちの暮らしに重要な役割を果たしています。山火事はその貴重な森林を一瞬のうちに焼失させる災害です。山火事の多くは、ちょっとした火の取り扱いの不注意が原因で発生しています。山火事を防ぐためには、一人一人が森林の大切さを認識し、防火意識を高めることが大切です。

　山火事は、市街地での火災とは異なり、いったん発生すると、消火用の水を確保するのが困難なこと、道路状況が良くないことなどの地理的・地形的条件から、容易に消火することができません。そのため、焼損面積が広範囲に及ぶ危険性が高くなります。

◆山火事の原因は人の不注意

　平成14年中の山火事の発生件数をみると、発生原因の第1位は「たき火」で、全体の約3割を占めています。次いで、「たばこ」「放火」「火入れ（野焼き）」の順となっており、火気の取り扱いの不注意や不始末によるものが多いのが特徴です。

　また、空気が乾燥する冬から春にかけては、山火事が発生する危険性が非常に高い時期です。

　近年、アウトドアブームの影響もあり、森林レクリエーションや山菜採りなどで、春先に山に入る人が増えていますが、たき火やたばこなどの火の取り扱いのちょっとした不注意から山火事が発生するケースが多発しています。

◆山火事を予防するために

　山火事を、未然に防止するために、火を取り扱うときには、次のことに注意しましょう。

○枯れ葉や枯れ草などがある火災が起こりやすい場所では、たき火をしない
○たき火の場所を離れるときは完全に消火する
○風の強いとき、空気が乾燥しているときは、たき火、火入れをしない
○火入れをするときは、消防機関に必ず届け出る
○たばこの吸いがらは必ず消し、投げ捨てない
○火遊びはしない